

# 2023年3月期 第2四半期決算説明資料

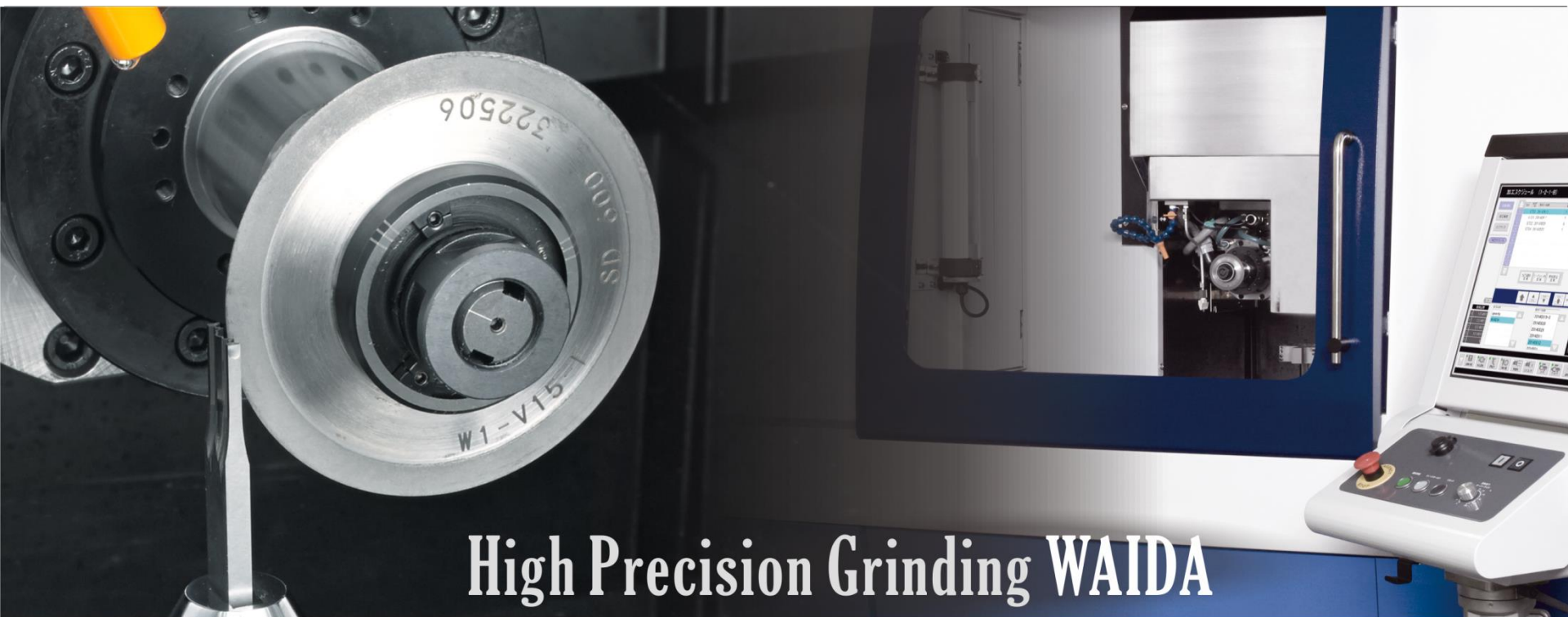


株式会社 和井田製作所  
2022年11月17日

北アルプス大橋から望む笠ヶ岳（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷）

証券コード：6158

# 会社概要



## High Precision Grinding WAIDA

会社名	株式会社 和井田製作所	事業内容	特殊研削盤の製造・販売
本社	岐阜県高山市片野町2121番地	資本金	8億4,330万円
代表者	代表取締役社長 森下 博	従業員数	173名(連結)
設立	1946年10月(現在第94期目)	所属団体	(一社)日本工作機械工業会

- **2023年3月期 第2四半期 決算概要**
- **2023年3月期 通期 業績見通し**
- **経営課題の進捗状況**

# 2023年3月期

## 第2四半期 決算概要

※ 金額表示は単位未満切り捨てております。  
%表示は四捨五入しております。

# 決算ハイライト（連結）

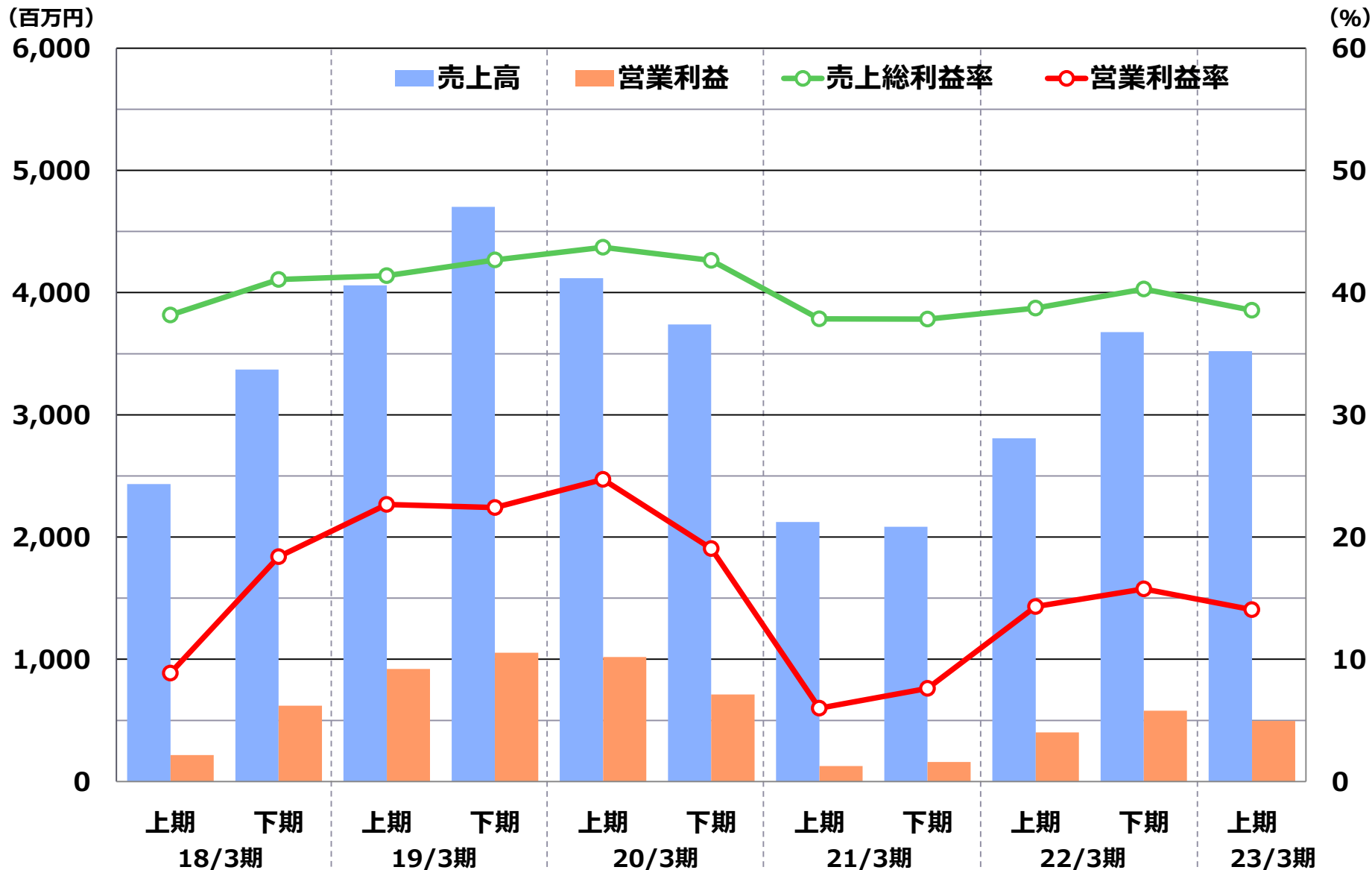
（単位：百万円）

	22/3期 上半期 実績	23/3期 上半期 期初計画※1	23/3期 上半期 実績	前年同期比	計画比
売上高	2,808	3,362	3,519	125.3%	104.7%
売上原価	1,720	2,086	2,163	125.7%	103.7%
売上総利益	1,087	1,275	1,356	124.8%	106.4%
〔売上総利益率〕	38.7%	37.9%	38.5%	▲0.2ポイント	+0.6ポイント
販売管理費	685	827	861	125.7%	104.1%
営業利益	401	447	494	123.1%	110.5%
〔営業利益率〕	14.3%	13.3%	14.1%	▲0.3ポイント	+0.7ポイント
経常利益	415	455	568	136.7%	124.8%
〔経常利益率〕	14.8%	13.5%	16.1%	+1.3ポイント	+2.6ポイント
四半期純利益※2	274	316	405	148.1%	128.3%
〔四半期純利益率〕	9.8%	9.4%	11.5%	+1.8ポイント	+2.1ポイント

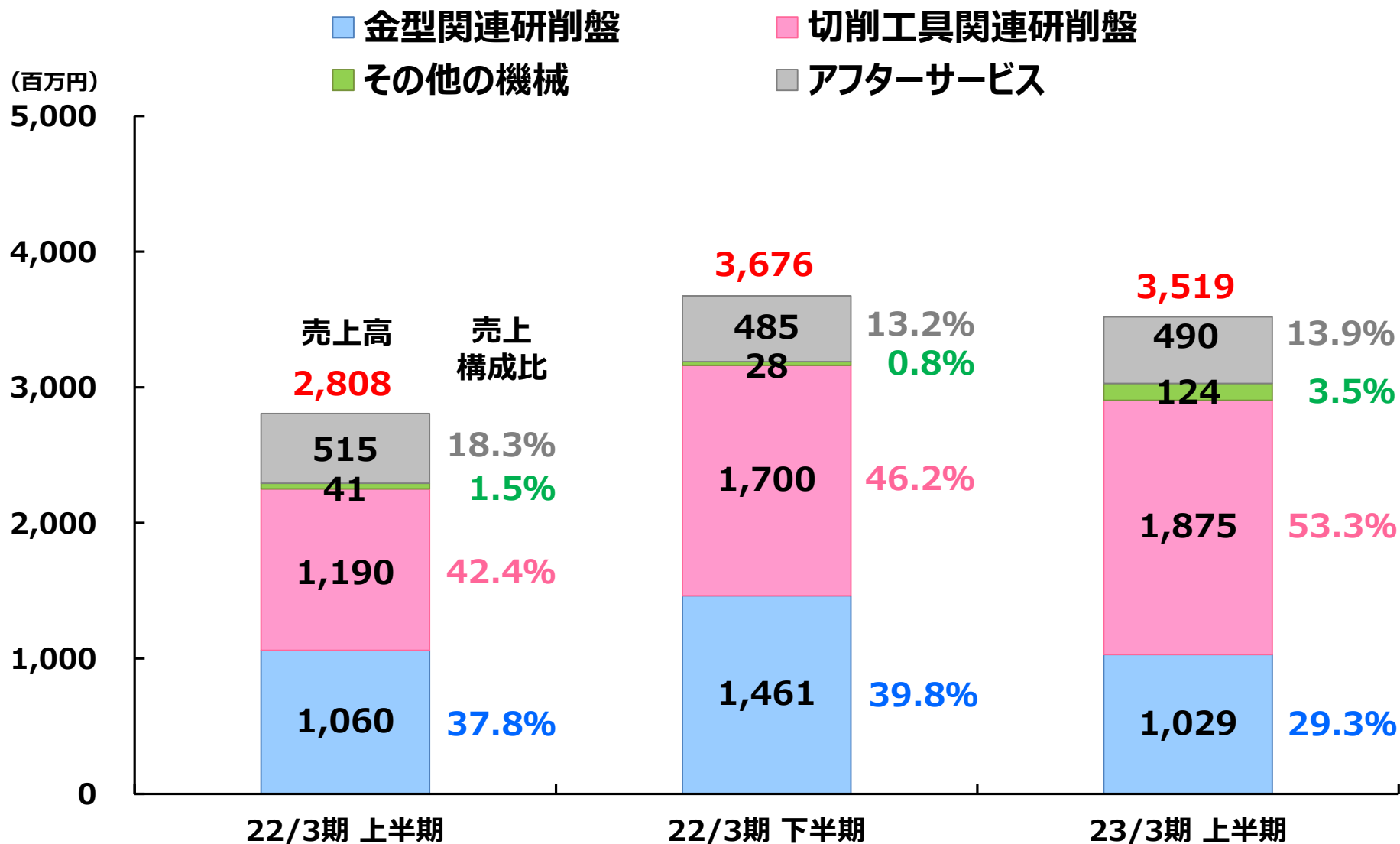
※1 2022/5/11 開示

※2 「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「四半期純利益」として表示しております

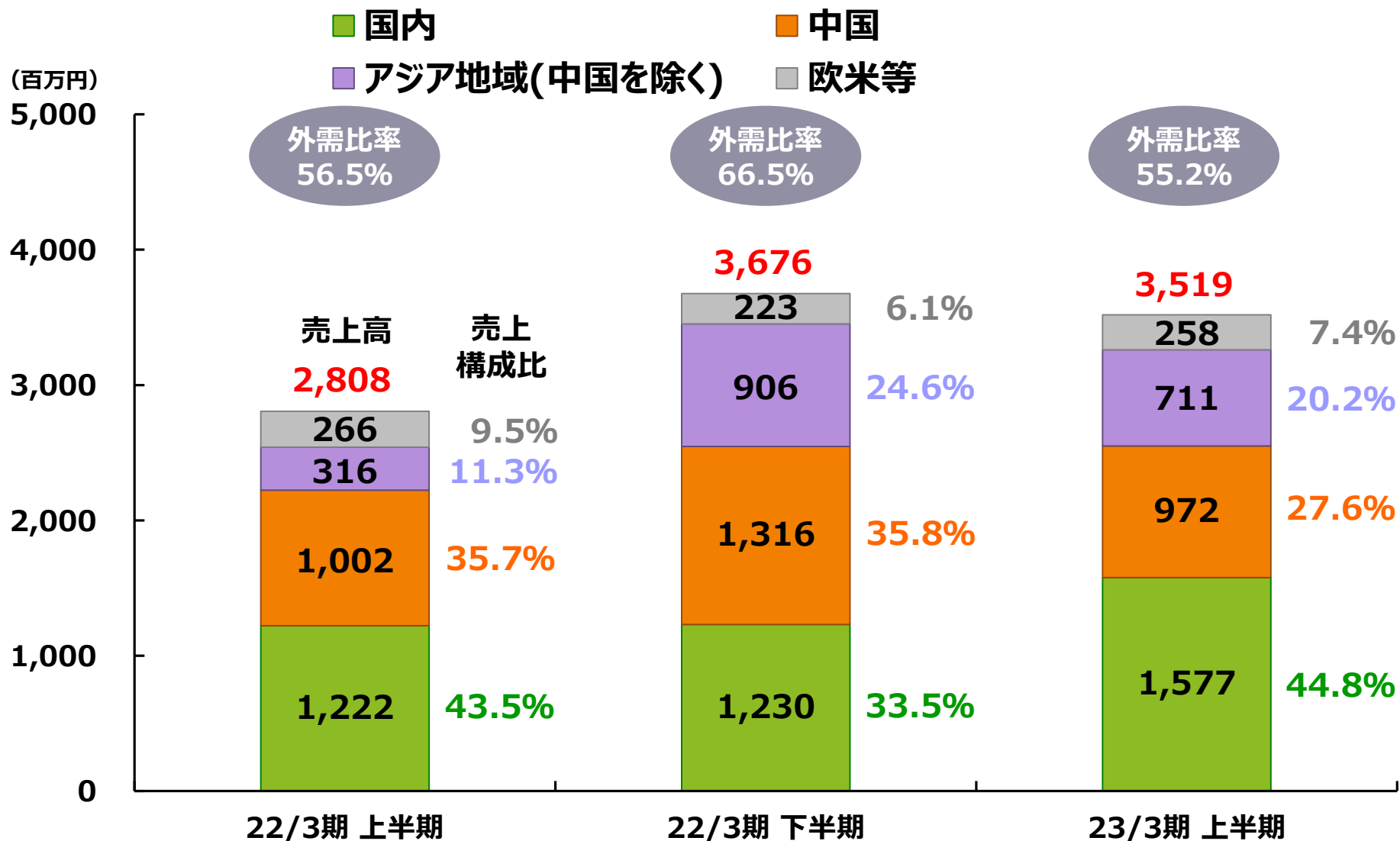
# 業績推移 (連結)



# 品目別売上高（連結）



# 地域別売上高（連結）（※）



※ 最終据付地ベースで集計しております。



# 貸借対照表（連結）

## <資産の部>

(単位：百万円)

	22/3期 期末 (22/3/31) 実績	23/3期 上半期末 (22/9/30) 実績	増減
現金・預金	5,943	4,707	▲1,235
売上債権	1,397	1,436	38
たな卸資産	1,720	2,086	366
その他流動資産	161	221	60
流動資産合計	9,221	8,452	▲769
有形固定資産	2,245	2,683	437
その他固定資産	454	445	▲8
固定資産合計	2,699	3,128	428
資産合計	11,921	11,580	▲341

## <負債・純資産の部>

(単位：百万円)

	22/3期 期末 (22/3/31) 実績	23/3期 上半期末 (22/9/30) 実績	増減
仕入債務	673	696	22
有利子負債(短期)	735	262	▲472
その他流動負債	756	671	▲85
流動負債合計	2,165	1,630	▲535
有利子負債(長期)	665	519	▲146
その他固定負債	295	294	0
固定負債合計	960	814	▲146
負債合計	3,126	2,445	▲681
純資産合計	8,794	9,135	340
負債・純資産合計	11,921	11,580	▲341

# キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	22/3期 上半期 (21/4/1~9/30) 実績	23/3期 上半期 (22/4/1~9/30) 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	561	▲27
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲148	▲567
フリー・キャッシュ・フロー（※）	413	▲595
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲267	▲717
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲24	77
現金及び現金同等物の増減額	120	▲1,235
現金及び現金同等物期首残高	4,692	5,603
現金及び現金同等物期末残高	4,812	4,367

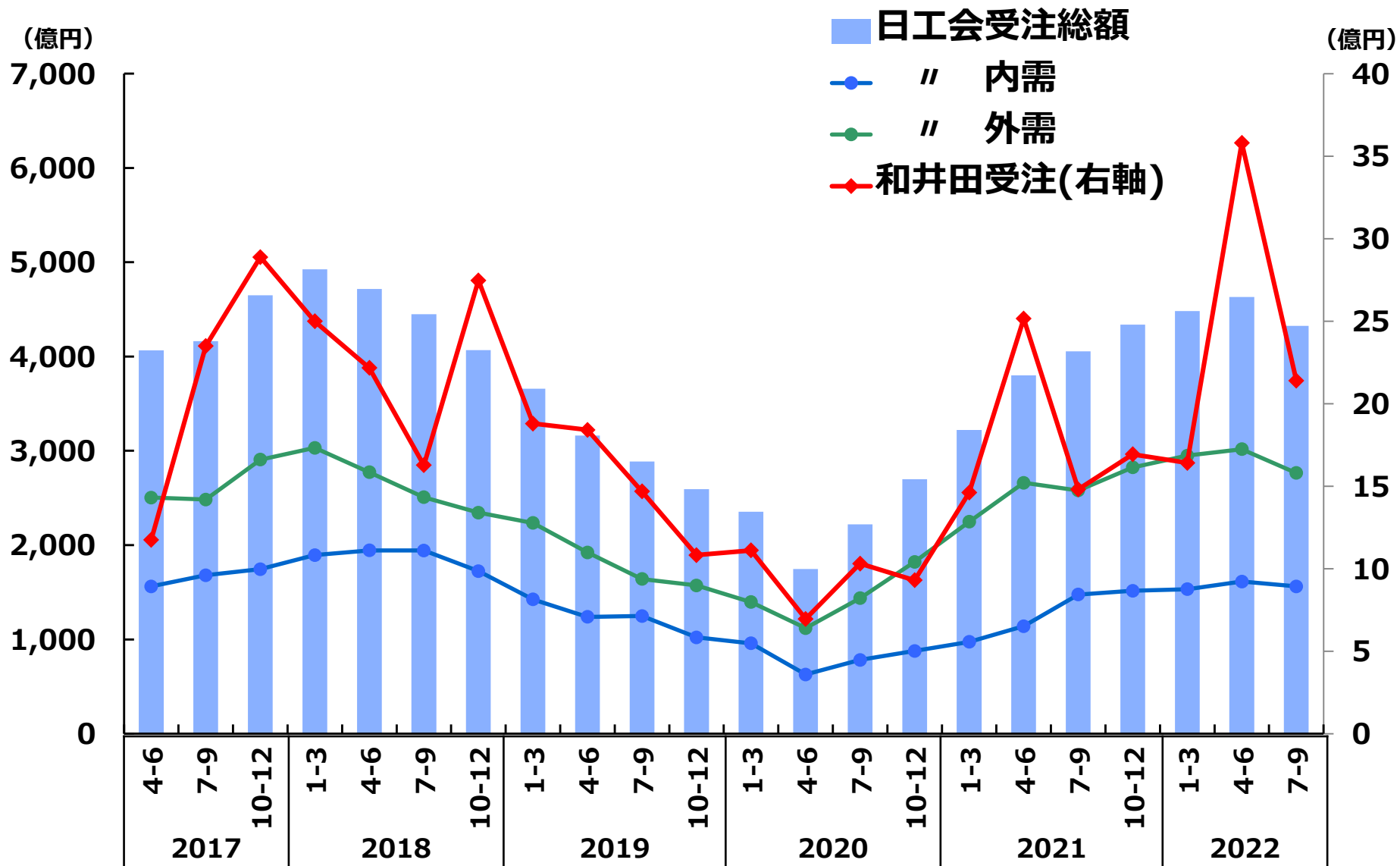
※ フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

# 2023年3月期

## 通期 業績見通し

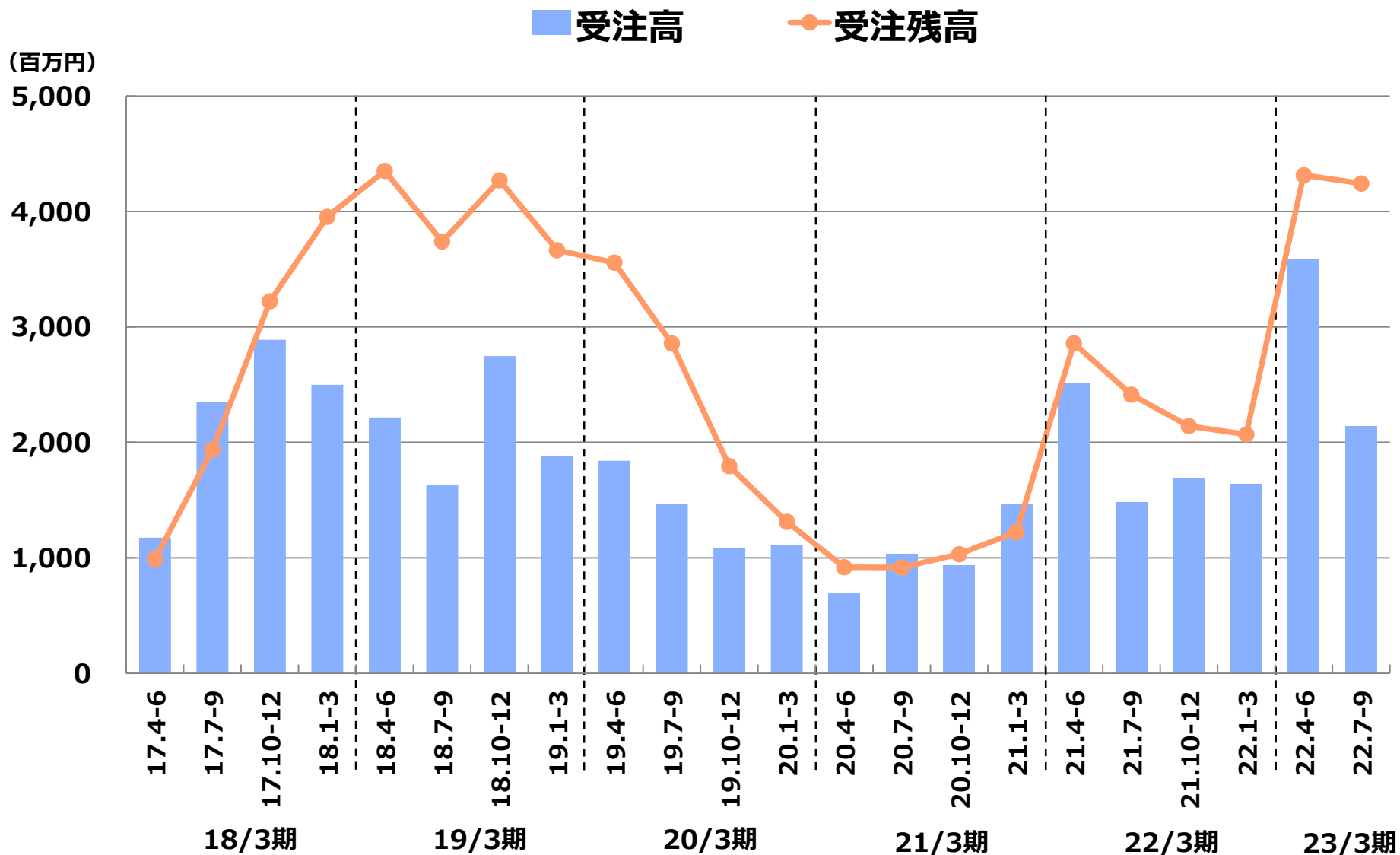
※ 金額表示は単位未満切り捨てております。  
%表示は四捨五入しております。

# 日工会／当社 受注比較



(出所 | 日本工作機械工業会)

# 当社 受注高・受注残高（連結）の推移



# 2023年3月期の通期見通しについて

## 上半期の状況

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも順調に回復を続ける世界経済を背景に、受注および売上が増加。
- ・前期まで設備投資に慎重であった反動もあり、第1四半期の受注は四半期としては過去最高額となる。第2四半期の受注も前年同期を上回る水準を維持。
- ・各種部材・部品の長納期化などが重石となったが、収益ともに期初計画を上回り着地した。

## 下半期の見通し

- ・ウクライナ情勢や急激な円安など、世界経済は先行きの不透明感が強まる。
- ・好調が続いた中国からの受注が減速する一方で、サプライチェーン再編の動きから国内や東南アジアからの受注が増加しており、好悪織り交ぜた状況にある。
- ・各種材料・部品の供給が逼迫する状況は続いており、納期の長期化などに対し緊密な調達管理や生産管理に引き続き取り組む。



- ・2023年3月期の売上は、様々な不安定要因はあるものの、多くの受注残を抱えていることもあり、概ね期初計画の範囲で進捗するものと見通している。  
また営業利益も、材料・部品価格の上昇や大型設備更新にともなう償却負担を、期初の段階で読み込んでおり、その状況に大きな変化は無い。  
これらの状況をふまえ、通期見通しは期初に発表した内容を据置いている。

# 業績見通し（連結）

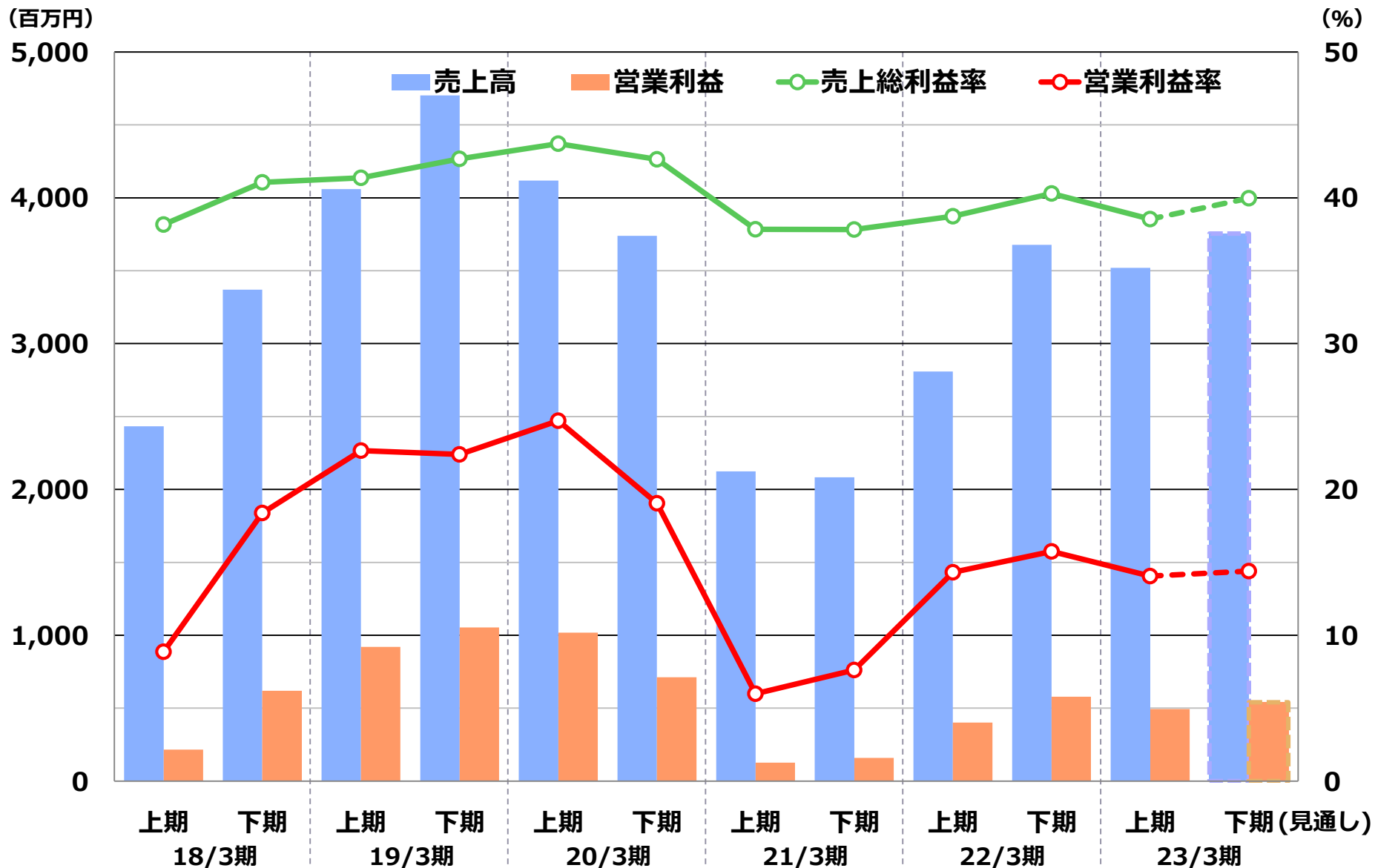
（単位：百万円）

	22/3期 通期 実績	23/3期 通期 見通し※1	前年同期比
売上高	6,485	7,274	112.2%
売上原価	3,916	4,416	112.8%
売上総利益	2,568	2,857	111.2%
〔売上総利益率〕	39.6%	39.3%	▲0.3ポイント
販売管理費	1,587	1,821	114.7%
営業利益	981	1,035	105.5%
〔営業利益率〕	15.1%	14.2%	▲0.9ポイント
経常利益	1,042	1,049	100.7%
〔経常利益率〕	16.1%	14.4%	▲1.6ポイント
当期純利益※2	694	730	105.2%
〔当期純利益率〕	10.7%	10.0%	▲0.7ポイント
配当金（1株当たり）	年間 30円	年間 34円(予定) ※3	年間 +4円(予定)

※1 2022/5/11 開示 ※2 「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として表示しております

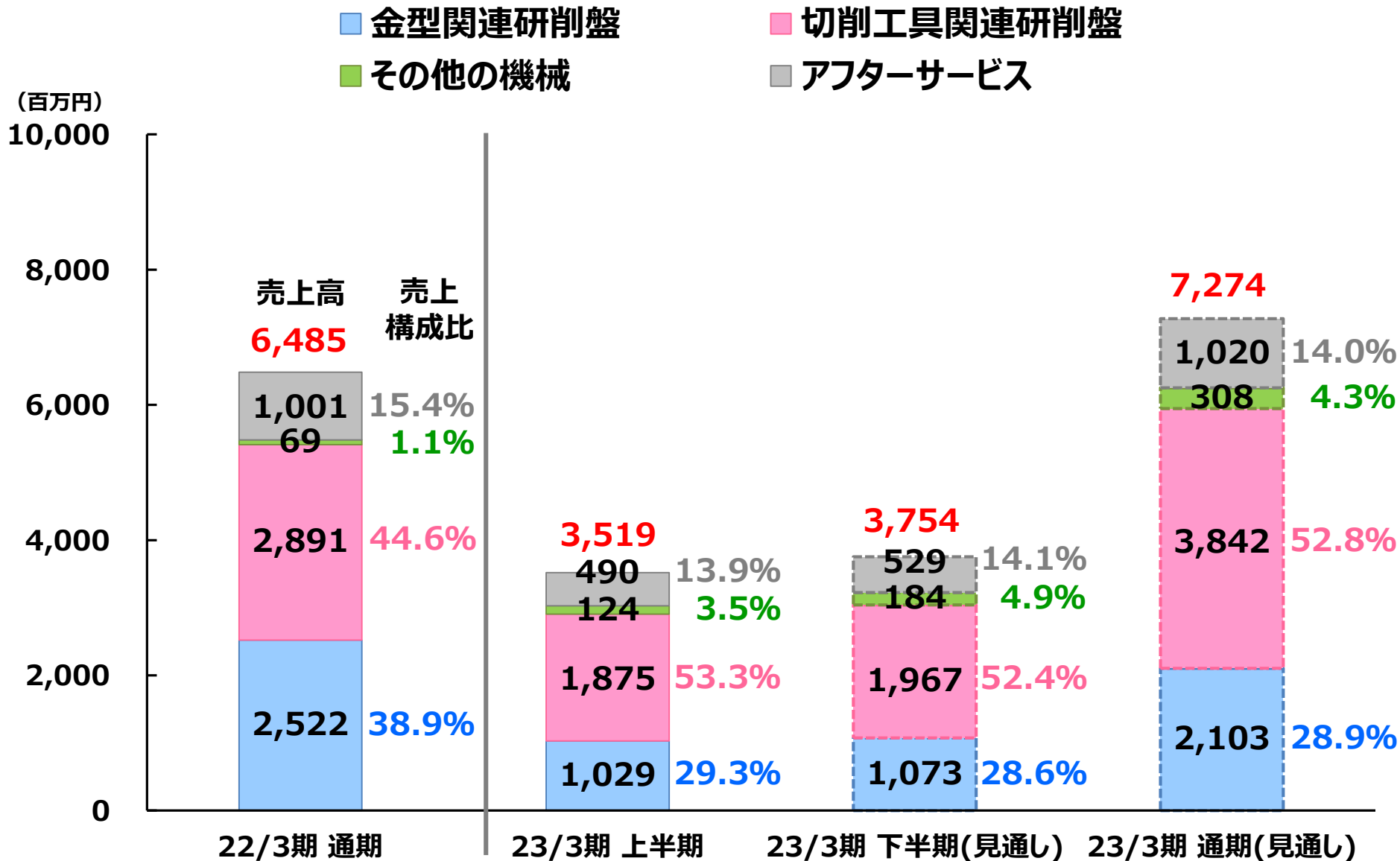
※3 中間配当の1株当たり17円と期末配当の1株当たり17円（予定）を合わせ、年間では1株当たり34円を予定しております。

# 業績推移見通し（連結）

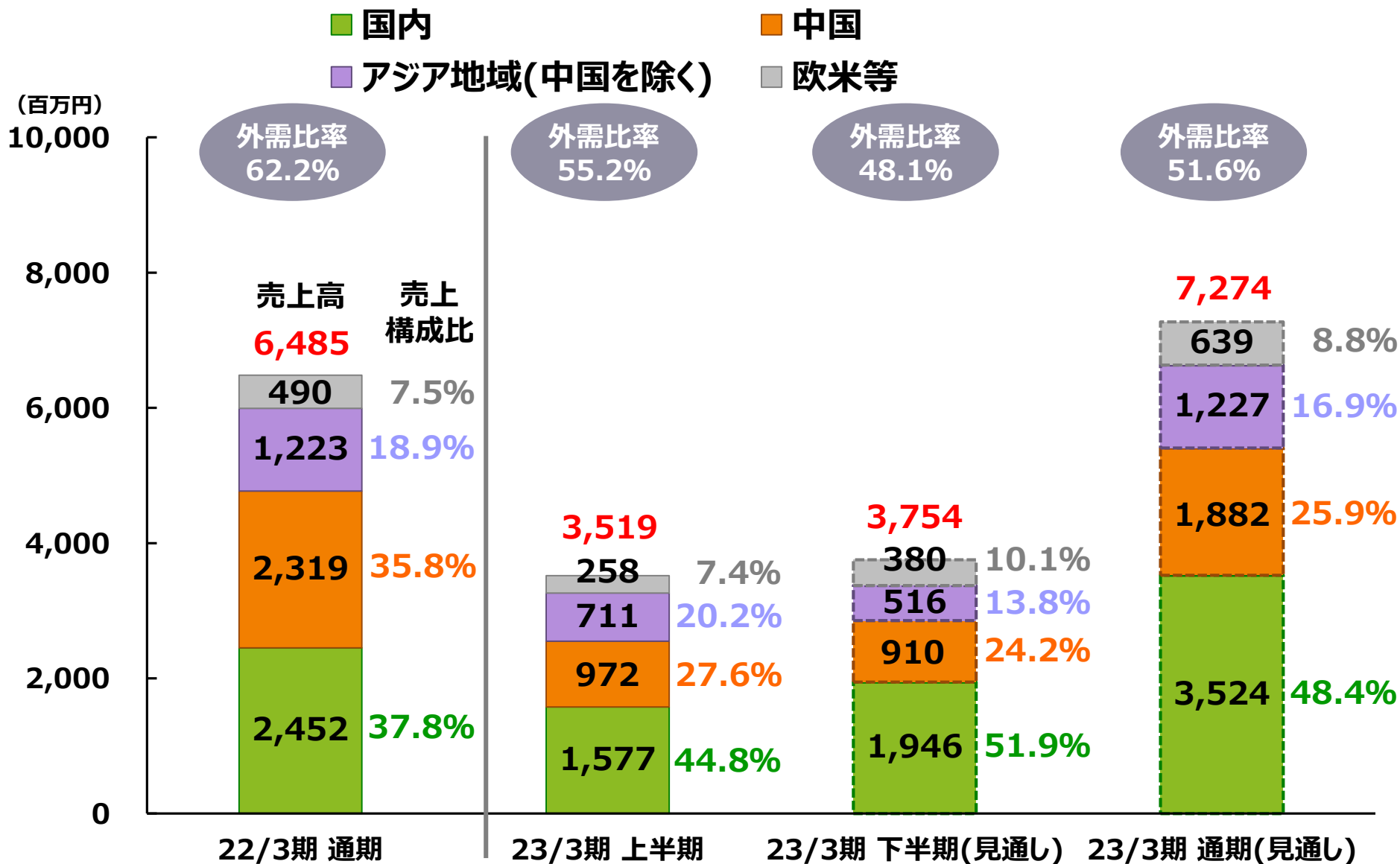




# 品目別売上高見通し（連結）



# 地域別売上高見通し（連結）（※）



※ 最終据付地ベースで集計しております。

# 経営課題の進捗状況

※ 金額表示は単位未満切り捨てております。  
%表示は四捨五入しております。

# JIMTOF2022に出展

JIMTOF2022（第31回 日本国際工作機械見本市）に出展いたしました。  
この展示会は隔年で開催されておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今回は4年ぶりのリアル開催となりました。

当社は「Next-Generation Grinding with WAIDA Machine」をテーマに、高精度研削盤の新製品を4機種出展するとともに、リモートシステムによる遠隔メンテナンスの実演も行うなど、積極的にお客様へアピールを行いました。

【会期】 2022年11月8日(火)～13日(日)

【会場】 東京ビッグサイト(東京国際展示場)

【出展内容】

- ・ 新製品 4 機種
- ・ 実演展示 リモートメンテナンス
- ・ 映像展示 HAAS社 Multigrind® Radical



« JIMTOF2022 当社展示ブースの様子 »

# 新製品 4機種を発表

JIMTOF2022で発表した高精度研削盤の新製品は、次の4機種です。



## レンズ金型向けジグ研削盤 SJK-L1

丸穴の仕上げ加工精度を極限まで高めた、高精度レンズ金型向けジグ研削盤



## デジタルプロファイル研削盤 SPG-XV

高精度デジタル投影機を搭載することにより、チャートを不要とし、ワークの高精度計測を可能としたデジタルプロファイル研削盤



## 溝入れインサート研削盤 DCG-G1

高剛性が特徴の往年の人気モデルDCGシリーズにデジタル技術を搭載した溝入れインサート研削盤



## 全自動インサート外周研削盤 APX-40

ワーク計測装置の分解能向上と位相計測機構の採用により、信頼性と自由度を向上した全自動インサート外周研削盤

# 当社の技術力 – 2 賞を受賞 –

## 機械工業デザイン賞

全自動5軸複合インサート研削盤 APX-F50 が、第52回（2022年）機械工業デザイン賞（主催：日刊工業新聞社、後援：経済産業省）の日本商工会議所会頭賞を受賞いたしました。

年々複雑化するインサート形状の加工ニーズに対応すべく開発した5軸研削盤であり、その点を高く評価いただきました。



## 精密工学会ものづくり賞

インテリジェントジグ研削盤 UJG-35i が、第6回（2022年）精密工学会ものづくり賞（主催：公益社団法人精密工学会）の優秀賞を受賞いたしました。

今回の受賞にあたり、当製品の加工精度の高さやユーザー指向で開発したソフトウェアの操作性を、高く評価いただきました。





本資料には、将来の業績見通し等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提に基づいて作成しております。従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知ください。

<https://www.waida.co.jp>

問い合わせ先：経営企画室

TEL:0577-32-0390

E-mail : [ir@waida.co.jp](mailto:ir@waida.co.jp)